

ヒューマンタッチ総研 Monthly Report

平成 26 年 12 月

ヒューマンタッチ総研レポートでは、建設業に特化して人材関連の様々な情報、最新の雇用関連データを月に1回のペースで発信していきます。ご愛読いただければ幸いです。

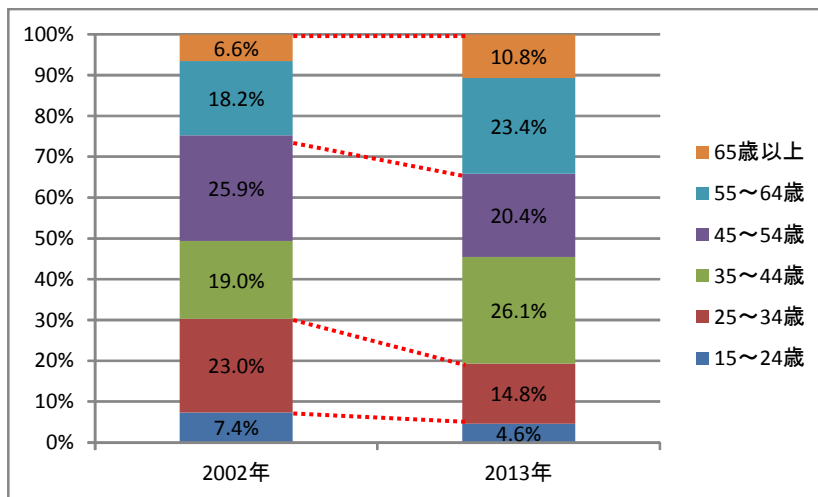
1 建設業界のトピックス

◆建設業界における技能伝承を危うくする人材の高齢化

公共工事など建設投資が年々減少したことを背景に、建設業界では長年にわたって新規採用を抑制してきたことから人材の高齢化が進んでいる。

総務省の労働力調査によると、建設業の全就業者に占める 55 歳以上の比率は、2002 年の 24.8%から 2013 年には 34.2%に上昇している。一方で 25 歳から 34 歳の比率は 23.0%から 14.8%へと低下している。

<建設業の年齢階層別就業者数の変化>



出典：総務省「労働力調査」より作成

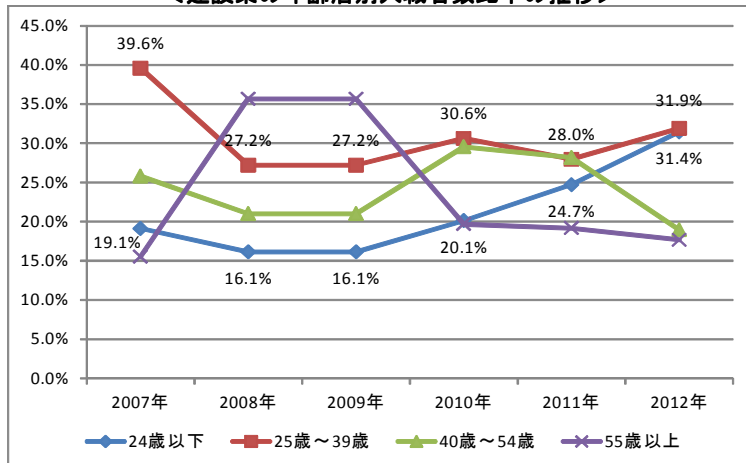
他の業種を見ると、製造業では、55 歳以上の比率は 2013 年で 24.4%と、建設業よりも 10 ポイント近く低くなっていることから、建設業においては特に人材の高齢化が進んでいることが分かる。

そして、このような人材の高齢化が、若手への技能の伝承を危うくしている。

国土交通省は若手人材への安定的な技能継承を実現できるようにするためには、東京オリンピックが開かれる 2020 年までに 15～34 歳の新規就業者が 50 万人程度必要とみており、建設業各社も若手の積極的採用で年齢バランスの転換を図ろうとしている。

建設業界の年齢階層別の入職者数の比率を見ると、24 歳以下の入職者数の比率が 2007 年の 19.1%から 2012 年には 31.4%へと大幅に上昇している。また、25 歳から 39 歳の入職者についても増加基調になっている。

<建設業の年齢階層別入職者数比率の推移>



出典：厚生労働省「雇用動向調査」より作成

一方、55 歳以上及び 40 歳から 54 歳の入職者数の比率は減少傾向であり、建設業界の各社において人材の若返りに向けて採用戦略の舵が切られていることが分かる。

今後は、人材の高齢化が特に顕著な地方都市も視野に入れつつ、若手人材の育成、若者に魅力的な業界となるための労働環境・条件の向上に業界をあげて注力することが大きな課題になると考えられる。

■このレポートに関する問合せ■ 〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-5-25 西新宿木村屋ビル 1 階

ヒューマンタッチ株式会社 ヒューマンタッチ総研担当 TEL:03-6846-9050 Mail:ht@athuman.com

2 建設業界の最新雇用関連データ(2014 年 11 月 28 日公表)

(1) 就業者数と雇用者数

◆建設業の 10 月の就業者数は 524 万人(前年同月比 102.7%)、雇用者数は 425 万人(同 101.9%)と増加

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
就業者数(万人)	491	498	509	510	511	501	491	506	505	524
前年同月比	98.6%	98.0%	100.8%	100.8%	101.6%	100.2%	104.0%	104.5%	100.0%	102.7%
雇用者数(万人)	399	403	416	412	415	406	395	408	410	425
前年同月比	98.3%	97.3%	100.2%	100.0%	102.2%	99.0%	101.3%	102.8%	100.0%	101.9%

出典:総務省「労働力調査」より作成

(2) 建設業の新規求人数

◆建設業の 10 月の新規求人数は 66,823 人(前年同月比 96.3%)と、3 カ月連続で前年割れとなった

	2014年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
新規求人数(人)	67,337	60,591	59,480	66,619	60,374	60,204	65,168	56,840	63,786	66,823
前年同月比	111.1%	102.5%	104.6%	109.7%	102.3%	105.7%	100.4%	94.7%	99.7%	96.3%

出典:厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

(3) 建設専門職の雇用動向

◆建築・土木・測量技術者の 10 月の有効求人倍率は 4.06 倍(対前年同月比+0.10 ポイント)と、上昇傾向が続いている

◆5 月から前年割れとなっていた新規求人数は 8 月を底に若干の増加傾向に転じており、今後の建設業各社の採用動向が注目される

<実績(常用・除くパート)>

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
新規求人数(人)	19,373	17,744	16,395	19,791	17,094	16,868	18,794	16,058	17,443	18,790
有効求人人数(人)	51,906	51,645	52,104	52,932	52,001	52,411	51,661	50,154	51,094	51,215
新規求職者数(人)	3,357	2,901	3,371	5,011	3,545	3,176	3,303	2,857	2,914	3,049
有効求職者数(人)	12,283	12,218	12,787	14,436	14,486	14,045	13,534	12,929	12,802	12,615
有効求人倍率	4.23	4.23	4.07	3.67	3.59	3.73	3.82	3.88	3.99	4.06

<対前年同月比>

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
新規求人数	113.4%	101.5%	99.1%	111.0%	93.3%	93.5%	97.9%	85.2%	92.9%	93.2%
有効求人人数	112.5%	107.5%	105.6%	105.5%	102.7%	100.8%	98.3%	92.9%	93.1%	91.5%
新規求職者数	80.6%	75.9%	80.7%	85.3%	83.0%	90.5%	88.2%	86.4%	92.1%	92.2%
有効求職者数	79.2%	78.0%	78.2%	80.8%	81.2%	83.2%	84.2%	85.6%	88.0%	89.2%
有効求人倍率	1.25	1.16	1.05	0.86	0.75	0.65	0.55	0.31	0.22	0.10

出典:厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

(4) 建設技能工の雇用動向

◆建設・採掘の職業の 10 月の有効求人倍率は 3.15 倍(対前年同月比+0.26 ポイント)と、上昇傾向が続いている

◆10 月の有効求人数は今年に入ってから初めての前年割れとなり、活発であった建設技能工への採用活動がやや落ち着きを見せだしたようである

<実績(常用・除くパート)>

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
新規求人数(人)	35,588	31,832	31,110	34,658	31,529	31,709	34,005	29,718	33,637	35,273
有効求人人数(人)	90,890	92,198	95,475	95,109	93,756	93,882	93,673	91,802	94,150	95,870
新規求職者数(人)	9,212	7,793	9,259	11,181	8,804	8,502	8,326	7,320	8,313	7,936
有効求職者数(人)	29,802	30,238	32,628	35,058	34,786	33,819	32,724	31,119	31,077	30,459
有効求人倍率	3.05	3.05	2.93	2.71	2.70	2.78	2.86	2.95	3.03	3.15

<対前年同月比>

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
新規求人数	113.0%	101.9%	106.2%	112.4%	103.3%	111.6%	102.7%	97.4%	101.5%	97.8%
有効求人人数	111.9%	108.7%	108.7%	109.1%	108.8%	110.3%	106.8%	104.7%	101.5%	99.4%
新規求職者数	85.5%	84.3%	86.4%	87.7%	84.2%	93.2%	89.3%	89.1%	98.3%	92.0%
有効求職者数	82.7%	83.1%	83.8%	84.9%	84.7%	86.6%	87.2%	88.4%	90.7%	91.3%
有効求人倍率	0.80	0.72	0.67	0.60	0.60	0.60	0.52	0.46	0.32	0.26

出典:厚生労働省「一般職業紹介状況」より作成

3 10月の雇用関連データのまとめ(2014年11月28日公表)

◆就業者数は 6,390 万人、前年より 24 万人増で 22 カ月連続の増加

就業者数は 6,390 万人(前年同月比+24 万人)で 22 カ月連続の増加となった。そのうち雇用者数は 5,629 万人(同+33 万人)、就業率は 57.6%で対前年同月比+0.2%となった。

◆完全失業率は 3.5% と前月より 0.1 ポイント改善

完全失業率(季節調整値)は 3.5%で前月から 0.1 ポイント低下した。完全失業者数は 233 万人(前年同月比 30 万人減)で 53 カ月連続の減少となった。

【主要雇用環境指標】

	5月	6月	7月	8月	9月	10月
労働力人口(万人)	6,639	6,634	6,604	6,595	6,635	6,623
対前年同月増減(万人)	20	41	38	14	18	-6
就業者数(万人)	6,397	6,389	6,357	6,363	6,402	6,390
対前年同月増減(万人)	57	56	46	53	43	24
就業率(15歳以上人口に占める就業者の割合)	57.7%	57.7%	57.3%	57.4%	57.8%	57.6%
対前年同月増減	0.5%	0.6%	0.4%	0.5%	0.5%	0.2%
雇用者数(万人)	5,591	5,617	5,600	5,600	5,636	5,629
対前年同月増減(万人)	38	46	53	38	61	33
完全失業者数(万人)	242	245	248	231	233	233
対前年同月増減(万人)	-37	-15	-7	-40	-25	-30
完全失業率	3.50%	3.70%	3.80%	3.50%	3.60%	3.50%

出典:総務省統計局 労働力調査 2014 年 10 月分(2014 年 11 月 28 日公表)

◆産業別の従業者数では医療・福祉の大幅な増加が続く

就業者数・雇用者数を産業別に見ると、医療・福祉の就業者数が 753 万人、対前年同月比+22 万人と大幅に増加、次いで建設業が 524 万人(対前年同月比 14 万人増)、情報通信業が 211 万人(同 14 万人増)と増加した。

【主要産業別の就業者数・雇用者数】

		農業・林業	建設業	製造業	情報通信業	運輸業 郵便業	卸売業 小売業	金融業 保険業
就業者	実数(万人)	227	524	1,028	211	341	1,082	149
	対前年同月増減	-10	14	-13	14	-2	-3	-6
雇用者	実数(万人)	57	425	987	202	327	984	144
	対前年同月増減	-1	8	-7	13	0	1	-8

		不動産業 物品賃貸業	学術研究 専門・技術 サービス業	宿泊業 飲食サービ ス業	生活関連 サービス業 娯楽業	教育 学習支援業	医療・福祉	サービス業 (他に分類さ れない)
就業者	実数(万人)	110	210	385	232	298	753	398
	対前年同月増減	3	10	-11	-16	3	22	-11
雇用者	実数	101	161	325	174	271	717	354
	対前年同月増減	4	5	-9	-13	3	19	-10

出典:総務省統計局 労働力調査 2014 年 10 月分(2014 年 11 月 28 日公表)

◆非正規社員比率の増加傾向が続く

非正規の職員・従業員数は 1,980 万人(前年同月比 16 万人増)、構成比は 37.5%と前月よりも 0.3 ポイント上昇しており、非正規社員比率の増加傾向が続いている。

【雇用形態別雇用者数】

	5月	6月	7月	8月	9月	10月
役員を除く雇用者数(万人)	5,245	5,260	5,247	5,253	5,298	5,279
正規の職員・従業員(万人)	3,324	3,324	3,307	3,305	3,327	3,298
構成比	63.4%	63.2%	63.0%	62.9%	62.8%	62.5%
対前年同月増減(万人)	1	-2	-6	-4	36	7
非正規の職員・従業員(万人)	1,921	1,936	1,939	1,948	1,970	1,980
構成比	36.6%	36.8%	37.0%	37.1%	37.2%	37.5%
対前年同月増減(万人)	39	36	60	42	30	16

出典:総務省統計局 労働力調査 2014 年 10 月分(2014 年 11 月 28 日公表)

◆女性の完全失業率がやや改善

完全失業率を男女別に見ると、男性は 3.8%(対前月+0.1 ポイント)、女性は 3.2%(同 -0.2 ポイント)となり、女性の失業率がやや改善している。女性の完全失業率を年齢層別に見ると、15 歳~24 歳が 5.0%(同 -0.6 ポイント)、35 歳~44 歳が 3.2%(同 -0.6 ポイント)と大きく改善されている。

◆25 歳~34 歳と 55 歳~64 歳の完全失業率が悪化

年齢層別では、25 歳~34 歳の完全失業率が 4.9%(同+0.3 ポイント)、55 歳~64 歳が 3.2%(同+0.2 ポイント)と悪化している。

【年齢階級別・男女別完全失業者・完全失業率】

年齢階級	完全失業者数 (万人)	対前年同月増減 (万人)	完全失業率 (季節調整値)	対前月増減 (%)
総数	233	-30	3.5%	-0.1
(男)	142	-17	3.8%	0.1
(女)	91	-13	3.2%	-0.2
15歳~24歳	28	-5	5.6%	-0.3
(男)	16	-3	6.4%	0.3
(女)	12	-2	5.0%	-0.6
25歳~34歳	59	-5	4.9%	0.3
(男)	34	-4	4.9%	-0.2
(女)	25	-1	5.0%	1.0
35歳~44歳	52	-6	3.3%	-0.1
(男)	30	-1	3.4%	0.3
(女)	22	-5	3.2%	-0.6
45歳~54歳	42	-10	2.9%	-0.4
(男)	25	-5	3.1%	0.0
(女)	17	-5	2.6%	-1.1
55歳~64歳	37	-5	3.2%	0.2
(男)	26	-3	3.9%	0.2
(女)	11	-2	2.1%	-0.1
65歳以上	15	0	2.1%	-0.2
(男)	11	-1	-	-
(女)	4	1	-	-

出典:総務省統計局 労働力調査 2014 年 10 月分(2014 年 10 月 31 日公表)

◆勤め先や事業の都合による離職が 46 万人で、前年同月比で 18 万人の減少

求職理由別に完全失業者を見ると、「勤め先や事業の都合による離職」が 46 万人(対前年同月比で 18 万人減少)、「定年または雇用契約終了による離職」が 26 万人(同 2 万人増加)、「自発的な離職(自己都合)」は 91 万人(同 3 万人減少)となった。

【求職理由別完全失業者数】

	5月	6月	7月	8月	9月	10月
勤め先や事業の都合による離職(万人)	43	46	48	44	46	46
対前年同月増減(万人)	-22	-16	-7	-13	-11	-18
定年または雇用契約終了による離職(万人)	31	27	26	26	22	26
対前年同月増減(万人)	-1	-3	-3	-6	-8	2
自発的な離職(自己都合)(万人)	90	95	94	93	96	91
対前年同月増減(万人)	-10	3	-3	-8	3	-3

出典:総務省統計局 労働力調査 2014 年 10 月分(2014 年 11 月 28 日公表)

■有効求人倍率は 1.10 倍で、前月より 0.01 ポイント改善

有効求人倍率は 1.10 倍で前月より 0.01 ポイント改善、新規求人倍率は 1.69 倍と前月より 0.02 ポイント改善、正社員有効求人倍率は 0.68 倍と前月より 0.01 ポイント改善した。

【有効求人倍率】

	5月	6月	7月	8月	9月	10月
有効求人倍率(倍)	1.09	1.10	1.10	1.10	1.09	1.10
新規求人倍率(倍)	1.64	1.67	1.66	1.62	1.67	1.69
正社員有効求人倍率(倍)	0.67	0.68	0.68	0.68	0.67	0.68

出典:厚生労働省:一般職業紹介状況 2014 年 10 月分(2014 年 11 月 28 日公表)

◆専門的・技術的職業の有効求人倍率は 1.69 倍で前月から 0.04 ポイント上昇

職業別に有効求人倍率を見ると、専門的・技術的職業の有効求人倍率は 1.69 倍で前月から 0.04 ポイント上昇した。人手不足が深刻な「建築・土木・測量技術者」の有効求人倍率は 4.06 倍で前月よりも 0.07 ポイント上昇、開発技術者についても 1.75 倍で前月よりも 0.07 ポイント上昇となり、どちらも人手不足の状況が続いている。

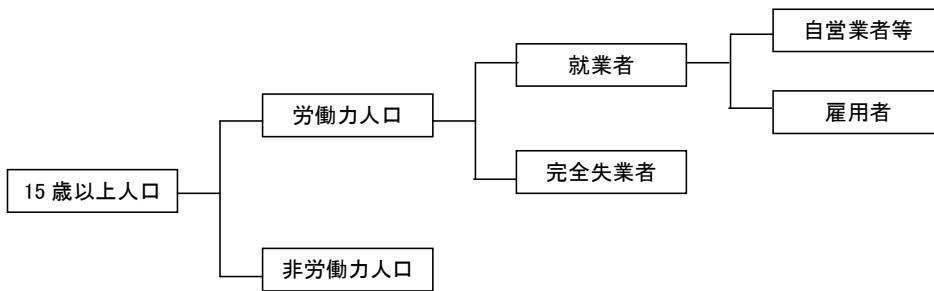
【職業別有効求人倍率(除パート)】

	5月	6月	7月	8月	9月	10月
職業計	0.80	0.83	0.87	0.89	0.92	0.93
専門的・技術的職業	1.40	1.49	1.58	1.61	1.65	1.69
開発技術者	1.49	1.58	1.63	1.64	1.68	1.75
建築・土木・測量技術者	3.59	3.73	3.82	3.88	3.99	4.06
情報処理技術者	1.78	1.85	1.91	1.96	1.98	2.00
医師、歯科医師、獣医師、薬剤師	6.92	7.22	7.58	7.42	7.81	7.50
保健師、助産師、看護師	2.59	2.72	2.79	2.80	2.78	2.91
医療技術者	2.27	2.52	2.76	2.81	2.85	2.79
その他の保健医療の職業	1.05	1.09	1.21	1.27	1.30	1.34
社会福祉専門の職業	1.34	1.48	1.65	1.75	1.85	1.93
美術家、デザイナー、写真家	0.34	0.35	0.36	0.35	0.36	0.35
事務的職業	0.24	0.25	0.26	0.27	0.28	0.28
販売の職業	0.96	1.00	1.05	1.08	1.12	1.14
サービスの職業	1.43	1.50	1.59	1.65	1.69	1.75
生産工程の職業	0.86	0.88	0.91	0.94	0.96	0.97
輸送・機械運転の職業	1.49	1.51	1.53	1.55	1.58	1.63
建設・採掘の職業	2.70	2.78	2.86	2.95	3.03	3.15

出典:厚生労働省:一般職業紹介状況 2014 年 10 月分(2014 年 11 月 28 日公表)

<用語解説>

① 労働力人口・就業者・雇用者・完全失業者



* 労働力人口

15歳以上で働く意思と能力を持つ者。

* 非労働力人口

15歳以上で働く意思や能力のない者。

* 就業者

賃金、給料、諸手当、営業収益、手数料、内職収入など収入(現物収入を含む。)になる仕事を少しでもした者。

* 完全失業者

仕事がなく、仕事をしなかった者のうち、就業が可能でこれを希望し、かつ仕事を探していた者、および仕事があればすぐに就ける状態で過去に行った求職活動の結果を待っている者。

* 自営業者

株式会社等の法人を設立せずに自ら事業を行っている者。

* 雇用者

会社・団体・官公庁または自営業主や個人の家庭に雇われて給料・賃金を得ている者。

② 就業率

「15歳以上の人口」に占める「就業者」の割合

③ 完全失業率

「労働力人口」に占める「完全失業者数」の割合

④ 有効求人倍率

有効求人数／有効求職者数(倍)

⑤ 新規求人倍率

新規求人数／新規求職者数(倍)

*「新規求人」とは、その月に受け付けた求人をいい、前月から未充足のまま繰り越された求人と新規求人との合計を「有効求人」という。